

とっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地
TEL (0857) 38-9500
FAX (0857) 38-9577
印刷 中央印刷株式会社



農業・農村フォトコンテスト2019入賞作品「実りの秋」 八頭町

目

次

○令和8年度農業農村整備事業の予算編成と事業制度等に関する提案・要望活動	2～4
○中国四国土地改良事業団体連合会協議会が令和8年度予算等に関する提案・要望活動を実施	5～6
○全国農業集落排水事業推進協議会 第36回通常総会	7
○令和7年度 第1回 理事会	7
○「事業制度編」と「技術編」-「知っておきたい基礎知識・情報講座」研修を実施	8
○令和7年度 ほ場整備担当者会議(第1回)	9
○令和7年度 基幹的農業水利施設の管理に関する研修会	10
○鳥取県土地改良区運営基盤強化協議会	11
○献血運動に貢献！厚生労働大臣感謝状 贈呈式	11
[シリーズ]	
○あつまれ、 ^{みどり} 水土里のなかまたち	12
○編集後記	12

令和8年度農業農村整備事業の予算編成と 事業制度等に関する提案・要望活動

7月31日(木)、8月1日(金)の2日間にわたり、鳥取県農業農村整備事業推進協議会や東部・中部・西部土地改良事業推進協議会、鳥取県農地・水・環境保全協議会、鳥取県土地改良事業団体連合会が財務省、農林水産省及び国会議員に対し農業農村整備事業に係る提案・要望活動を実施しました。

[提案・要望内容]

要望1 食料・農業・農村基本計画の目標を実現するための農業農村整備関連施策の強化と予算の確保について

- 食料・農業・農村基本計画を着実に進めていくための農業農村整備関連施策を強化するとともに、計画的かつ着実に実施できるよう十分な予算を確保すること。
- また、資材価格や人件費の高騰等により事業費が増嵩しており、事業完了と効果発現の遅れが懸念されるため、これらの要因を考慮した十分な予算を確保すること。

要望2 農地の大区画化を推進するための支援について

- 農林水産業の構造転換による成長産業化及び食料安全保障の確保のため、コストの徹底的な低減に向けた農地の大区画化などを集中的・計画的に推進できるよう、施策の充実強化を行うとともに、機動的・弾力的な対応により必要十分な予算を確保すること。

要望3 防災重点農業用ため池の整備等に係る地財措置の延長について

- 近年、異常気象等により災害が激甚化・頻発化する中で、防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策の期間終了後も引き続き取組が推進できるよう、防災重点農業用ため池緊急整備事業、緊急自然災害防止対策事業に係る地財措置の終期を令和12年度まで5年間延長すること。（現行：令和3年度～7年度まで）

要望4 農業水利施設の長寿命化を推進するための支援について

- 水利施設等保全高度化事業の実施計画策定事業（機能診断・機能保全計画の策定）について、農業水利施設の適切な予防保全実施による長寿命化対策を推進するため、令和8年度以降も定額支援を継続すること。（現行：令和3年度～7年度まで）
- 農業水利施設の管理及び保全に関しても、ため池サポートセンターと同様な活動（点検確認・地元指導・情報整備等）が行えるよう新たな制度を創設すること。

要望5 農村地域の多面的機能を発揮するための支援について

- 多面的機能支払交付金制度に取り組む活動組織が持続的かつ、活気に満ちた活動ができるよう必要な予算を確保すること。
- 特に資源向上支払（施設の長寿命化）への必要な予算を確保すること。

要望6 土地改良区の運営基盤の強化について

- 農業集落が小規模化・高齢化する中で、土地改良区が主体となって、水系の末端も含めた水利施設全体での保全活動が行えるよう、土地改良区の運営基盤の強化や水土里ビジョンの支援制度の充実を図ること。

[提案・要望者]

鳥取県農業農村整備事業推進協議会	会 長	広 田 一 恭 (倉吉市長)
東部土地改良事業推進協議会	会 長	吉 田 英 人 (八頭町長)
東部土地改良事業推進協議会	副会長	竹 本 芳 宏 (湖東大浜土地改良区理事長)
中部土地改良事業推進協議会	会 長	山 崎 正 美 (関金土地改良区理事長)
中部土地改良事業推進協議会	副会長	宮 脇 正 道 (湯梨浜町長)
西部土地改良事業推進協議会	会 長	竹 口 大 紀 (大山町長)
西部土地改良事業推進協議会	副会長	田 邊 雄 一 (箕蚊屋土地改良区理事長)
鳥取県農地・水・環境保全協議会	会 長	松 本 昭 夫
鳥取県土地改良事業団体連合会	会 長	松 本 昭 夫

[提案・要望先]

財 務 省

加藤 勝信 財務大臣

宮下 賢章 主計官

農林水産省

滝波 宏文 農林水産副大臣

松本 平 農村振興局長

青山 健治 農村振興局次長

石川 英一 整備部長

国会議員

石破 茂 内閣総理大臣

赤澤 亮正 経済再生担当大臣

舞立 昇治 参議院

農林水産委員会委員長

青木 一彦 内閣官房副長官

藤井 一博 参議院議員

出川 桃子 参議院議員

進藤金日子 参議院議員



加藤勝信 財務大臣



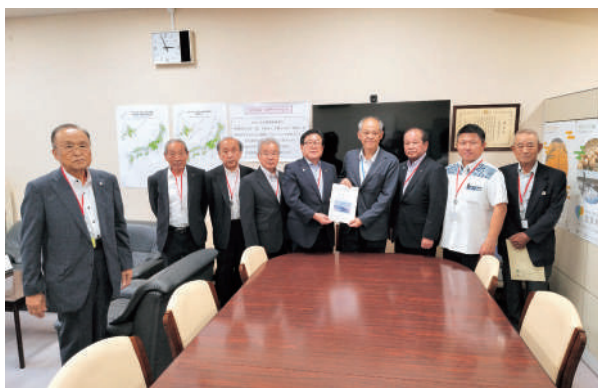
滝波宏文 農林水産副大臣



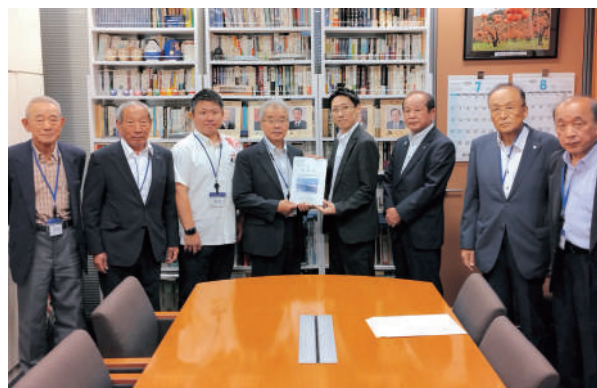
松本 平 農村振興局長



青山健治 農村振興局次長



石川英一 整備部長



石破 茂 内閣総理大臣（秘書）



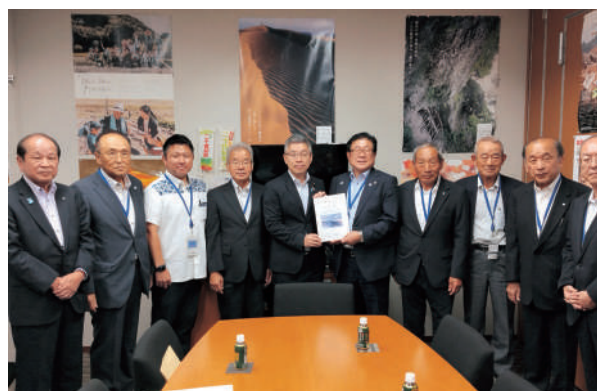
赤澤亮正 経済再生担当大臣（秘書）



舞立昇治 参議院農林水産委員会委員長



青木一彦 内閣官房副長官（秘書）



藤井一博 参議院議員



出川桃子 参議院議員（秘書）



進藤金日子 参議院議員

中国四国土地改良事業団体連合会協議会が 令和8年度予算等に関する提案・要望活動を実施

7月28日(月)～29日(火)に中国四国土地改良事業団体連合会協議会が農林水産省等に対して、令和8年度 農業農村整備事業の予算編成と事業制度等に関する提案・要望活動を下記のとおり実施しました。

【提案・要望内容】

1. 食料・農業・農村基本計画の目標を実現するための農業農村整備関連施策の強化と予算の確保
2. 農業者の減少下においてコストの徹底的な低減を図るためのほ場整備事業の予算の確保
3. 頻発化・激甚化する災害への対策の強化に向けた緊急自然災害防止対策事業等の延長
4. 水利施設管理者等の減少で役割が増してきている土地改良区の運営基盤の強化
5. 農業生産と不可分の維持活動を支える多面的機能支払交付金制度の予算確保と不断の見直し

【提案・要望者：中国四国土地改良事業団体連合会協議会】

鳥取県土地改良事業団体連合会
岡山県土地改良事業団体連合会
山口県土地改良事業団体連合会
香川県土地改良事業団体連合会
高知県土地改良事業団体連合会

島根県土地改良事業団体連合会
広島県土地改良事業団体連合会
徳島県土地改良事業団体連合会
愛媛県土地改良事業団体連合会

【要望日及び要望先】

月 日	提案・要望先
7月28日 (月)	石破 茂 内閣総理大臣 赤澤亮正 経済再生担当大臣 渡邊 毅 農林水産事務次官 松本 平 農村振興局長 青山健治 農村振興局次長
7月29日 (火)	森山 裕 自由民主党幹事長 加藤勝信 財務大臣 古川直季 総務大臣政務官 青木一彦 内閣官房副長官 舞立昇治 参議院農林水産 委員会委員長 藤井一博 参議院議員 出川桃子 参議院議員 進藤金日子 参議院議員



【森山 裕 自由民主党幹事長】



【加藤勝信 財務大臣】



【古川直季 総務大臣政務官】



【渡邊 毅 農林水産事務次官】



【松本 平 農村振興局長】



【青山健治 農村振興局次長】



【進藤金日子 参議院議員】



全国農業集落排水事業推進協議会 第36回通常総会



伊東会長（岡山県倉敷市長）開会挨拶

8月6日(水)、東京都「砂防会館」において、「全国農業集落排水事業推進協議会第36回通常総会」が開催されました。

開会にあたり、伊東香織会長（岡山県倉敷市長）より「農業集落排水処理施設は全国に約4,700箇所存在し、その多くが供用開始後20年以上経過しており、更新の必要性が高まっている。能登半島地震、埼玉県八潮市道路陥没事故等、国民のインフラに対する不安は高まっており、農業者の重要な生活基盤である農業集落排水施設の整備推進を国に対し要望し

ていきたい」と挨拶されました。

続いて、来賓の全国水土里ネット会長会議顧問 進藤金日子参議院議員、農林水産省農村振興局整備部 山本恵太地域整備課長、(一社)地域環境資源センター 川合規史専務理事よりご祝辞をいただきました。

その後、伊東会長が議長となり下記議案の審議が行われ、すべて原案どおり承認されました。

記

議案第1号 令和6年度 事業報告並びに同収支決算の承認について

議案第2号 令和7年度 事業計画、同会費の賦課及び徴収方法並びに同収支予算の議決について

議案第3号 令和7年度 農業集落排水事業の推進に関する提案について

令和7年度 第1回 理事会



理事会の様子

令和7年度 第1回 理事会を8月7日(木)鳥取県土地改良会館において、理事10名の出席、監事2名の同席のもと開催しました。

開会にあたり、松本会長の挨拶の後、来賓の鳥取県農林水産部 農業振興局農地・水保全課 足立課長から「渇水対策の協力への御礼、農地の大区画化、地域計画の作成」等について情報提供がありました。

その後、松本会長が議長となり下記の議案第1号、2号が審議され、原案どおり承認されました。

また、議案第1号のなかで、鳥取県土地改良事業団体連合会補助金要領が一部改正され、男女共同参画にかかる事業に対する補助の新設が承認されました。

記

議案第1号 規程の一部改正について

議案第2号 令和6年度 事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録並びに収支決算書について

「事業制度編」と「技術編」―「知っておきたい基礎知識・情報講座」研修を実施

7月10日(木)に鳥取県土地改良会館において、水土里ネットとっとりが「農業農村整備事業の事業制度編」および「農業水利施設ストックマネジメントの技術編」の研修を開催しました。

本研修は、年度計画に基づく内部研修「知っておきたい基礎知識・情報講座」の一環として実施されたものです。今回は、鳥取県ならびに土地改良区をはじめとする関係機関へ参加の枠を広げ、より広域かつ実践的な学びを提供しました。講師には、鳥取大学大学院連合農学研究科の緒方教授をお迎えし、鳥取大学農学部生命環境農学科の学生も含め、総勢46名の参加がありました。

「事業制度編」では、「鳥取県におけるきめ細やかな基盤整備事業」と題し、鳥取県農林水産部農業振興局農地・水保全課の西田室長に講義いただきました。農業生産1千億円達成プランの概要、地域計画の策定状況、土地改良連合会における発注者支援、さらに農業体質強化基盤整備促進支援事業など、制度理解を深める内容となりました。参加者は、事業主体への提案力を高め、事業推進への自信を得る機会となりました。

「技術編」では、「開水路に発生するひび割れの見分け方」と題して、緒方教授より農業水利施設に関する専門的な講義が行われました。水路工の分類、コンクリート構造物の変状と要因、変状区分、材料の強度と破壊、ひび割れの評価と判定など、エンジニアリングに特化した内容を学びました。参加者からは、「ひび割れの原因と評価の理解が深まった」「現場での判断に役立つ知識が得られた」など、実務への活用を期待する声が多く寄せられると共に活発な意見交換が行われ、有意義な研修となりました。

今後も、本会では、業務遂行に直結する実践的な研修の充実を図り、技術者の育成と情報共有に積極的に取り組んでまいります。



「事業制度編」を講演する西田室長



「技術編」を講演する緒方教授

令和7年度 ほ場整備担当者会議(第1回)



会議の様子

7月18日(金)に鳥取県農林水産部農業振興局農地・水保全課により県西部総合事務所において、「令和7年度 ほ場整備担当者会議(第1回)」が開催されました。

当日は、ほ場整備に携わる県職員が17名、本会は、若手職員を中心とした12名が出席しました。

開会にあたり、農地・水保全課 西田室長から「県と県土連がほ場整備に関する共通認識を持ち、県土連は県営事業だけではなく、団体営事業の実施についても市町村等事業主体への支援を充実してほしい」と挨拶されました。

午前の部は、近年のほ場整備を取り巻く情勢を踏まえ、設計や施工に関する様々な問題とそれに対する対応策等について活発な議論が交わされました。

午後の部は、「未来を見据えたほ場整備事業」をテーマに、日南町「折渡地区」の今後将来の人口減少を見据え、維持管理の省力化を図るための、頭首工及び用水路の統廃合をテーマに、現地視察を行いました。

県の担当職員より、水利施設の統廃合を行うことに至った地区の現状・経緯や関係機関との協議・手続き等の事例紹介をしていただきました。

特に、水利権の廃止等については、多くの関係機関との協議に時間を要し、1年工期が延期となるなど苦労が沢山あったそうです。今般のほ場整備事業により水利施設の統廃合が実現し、長年地元関係者が懸念していた山腹水路の維持作業の省力化を図る事が可能となり、地元関係者から大変感謝されたとのことでした。



統廃合により廃止となる頭首工



現地視察の様子

令和7年度 基幹的農業水利施設の管理に関する研修会

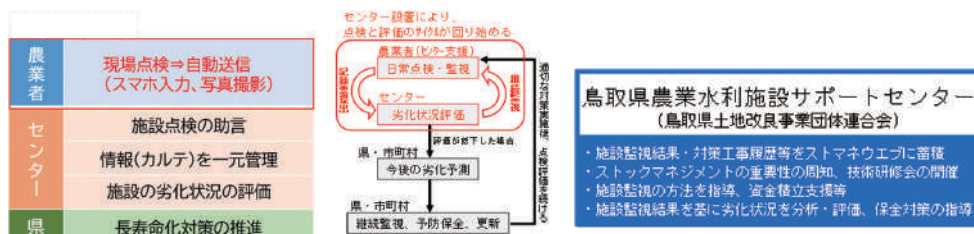
7月29日(火)に「新日本海新聞社中部本社ホール」において、鳥取県農業水利施設サポートセンターが県内の基幹的農業水利施設管理者を対象に「令和7年度 基幹的農業水利施設の管理に関する研修会」を開催し、32名の参加がありました。

本研修では、県内の基幹的農業水利施設の長寿命化を推進する上で、定点等の日常監視を充実させるため、基幹的農業水利施設管理者を対象に開催するものです。

最初に、鳥取県農業水利施設サポートセンターを立上げた鳥取県農林水産部農業振興局農地・水保全課農村整備室の大坪係長より、基幹的農業水利施設の現状とサポートセンターの活用について説明がありました。



農地・水保全課 大坪係長



続いて、鳥取県農業水利施設サポートセンターが新たに開発した水利施設の日常点検・監視支援のスマートフォン用アプリ「らく点」及びウェブシステムの操作説明、監視記録票の入力について、鳥取県農業水利施設サポートセンター事務局の福政主任（会員支援課）が指導し、参加者が実際デモ体験して、今後の現地点検をスムーズに行える準備をしました。



最後に定点等の現地点検を行う際、監視写真の撮り方や監視ポイントについて、鳥取県農業水利施設サポートセンターの柏木課長が説明しました。開水路の監視ポイントとして、初期ひび割れのケースや環境によるひび割れのケースなどの説明と、コンクリートの摩耗写真を記録する場合は、流れに対して斜め又は直角に撮影するなどアドバイスしました。



農業水利施設サポートセンター 福政主任



研修会の様子

鳥取県土地改良区運営基盤強化協議会

8月6日(水)に鳥取県土地改良会館において、鳥取県農林水産部農業振興局農地・水保全課により「令和7年度鳥取県土地改良区運営基盤強化協議会」が開催されました。

本協議会は、土地改良長期計画、「連携管理保全事業の運用について」に基づき設置されています。関係機関が連携協力して、県内の土地改良区が直面する課題や組織・運営体制の差異に応じたきめ細かい対応策を検討した上で、土地改良区の支援に当たります。



協議会の様子

当日は、農地・水保全課 谷田補佐が司会を務め、水土里ビジョンや女性理事登用について活発な議論が交わされました。

また、中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課 川嶋課長から情報提供として、土地改良施設の安全管理対策などについて説明がありました。次回は、現在取り組んでいる土地改良区の経営診断結果を踏まえた経営健全化の取組について議論する予定です。

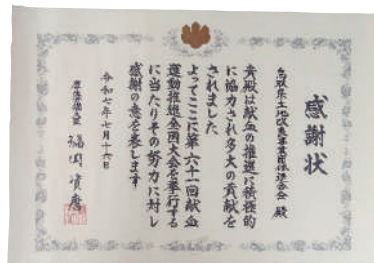


農地・水保全課 谷田補佐



土地改良管理課 川嶋課長

献血運動に貢献！厚生労働大臣感謝状 贈呈式



7月29日(火)、鳥取県庁において「愛の献血助け合い運動」に合わせ、献血運動に長年貢献した団体を顕彰する感謝状等の贈呈式が開催されました。

この感謝状は、通算10年以上、献血に協力しているなどの要件をみたしている団体、普段の献血に対する活動についても他の模範となる団体に贈呈されるものです。

本会は、約30年以上の長年に亘り本部事務所で献血車による献血を職員の協力を得ながら実施してきた活動が評価されました。

なお、この厚生労働大臣感謝状は、鳥取県土地改良事業団体連合会及び他2団体が受賞しました。今後も、本会は地域貢献活動を継続していききたいと思います。



愛と絆のある農業・農村をめざして
水と土を愛する
なかまたちを順次で紹介

東伯地区土地改良区連合 事務局長 篠原 芳宝

東伯地区土地改良区連合の篠原です。よろしくお願いします。

畑かんの管理に携わり38年、ダム管理をするため大学で専門教科を学ばせて頂いたり、国営東伯農業水利事業所では、現地で国営事業を体験させて頂きました。供用開始から30数年経過し施設の更新、管水路の修理等に日々奔走しております。現在、西園で多面的機能支払い交付金事業の書記会計の仕事をしています。連合での仕事と通じるものがあり、いろいろな設備の修繕、更新を行っていますが、18年目となりそろそろ譲りたいなと思っているところです。

趣味は、米作りと卓球です。現在2ヘクタールの水田を管理し、今年は1ヘクタールで米を作っています。一年ごとに水稲作と転作を繰り返し、今、問題となっているジャンボタニシの被害を受けづらい作付を行っています。田植え前は結構忙しいですが、植えてしまえば月1回の草刈りくらいであり手間はかかりません。稲の成長を楽しみに、毎日出勤前に田んぼに行っておひこは生えていないか、水は無くなっていないかを確認してから仕事に出ます。

卓球は、小学校6年生から始めました。西園での班対抗戦の練習を見に行っただのが切っ掛けです。学生時代はあまり目が出なかったですが、好きで続けたことにより26歳で社会人の全国大会に出場することが出来ました。試合は15分、ゴルフと観光に2日間と大変良い思い出になりました。

また、20年前から育成会の指導者として子供たちに教えています。模範的な動きが出来なくなったため、専ら口で指導しています。



2025年全日本卓球選手権大会（神戸市）



選手たちと記念撮影

今年は小学生個人バンビの部で全国大会に出場、いろいろあってホープス女子団体に東京に行くことになり、週4日、体に鞭打って練習しています。結果は惨敗でしたが、楽しい時間が過ごせました。あまり県外に出ることはないのですが、卓球の全国大会や西日本大会への出場が楽しみの一つになっています。卓球を通じた沢山の出会いと学びが私の財産となっています。

また、中学時代の同級生と20年ぶりにゴルフを再開しました。人生、まだまだ楽しめます。



編集後記

スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋ですが皆様はどの秋を楽しんでいますか？

私は芸術の秋に関わることはほど遠く、食欲の秋を楽しんでいます！夏バテした体にナシやブドウ、柿は本当に食欲をそそり「食のみやこ鳥取」を感じますよね！

もうすぐ「とっとり水と土の女性会」で作付けしたサツマイモが収穫できるので、焼き芋、スイートポテトなどに料理して食べるのが楽しみです。🍠（福政）